

令和 7 年度

監 査 報 告 書

－ 表 紙 －

福岡県田川市大字伊田 3 6 3 5 番地

社会福祉法人若草保育会

法人番号〔7 2 9 0 8 0 5 0 0 7 2 3 8〕

令和 7 年度
監 査 報 告 書
(監事監査意見書)

社会福祉法人 若草保育会
理事長 岡 正純殿

社会福祉法人若草保育会の令和 7 (会計)年度監事監査は、田川市大字伊田3635番地の法人事務所にて、令和 8 年 5 月 1 2 日(火)の午後 1 時半から約 3 時間余の所要時間を費やし、無事に当該作業を閉了した。日程概略は、例年のように適度の休憩をはさみつつ、施設内外視察を通じて労務環境状況の視認や関係管理者の聴取を行い、屋内での帳簿類事務監査は主として児童処遇と労務資料の整備保管状態の確認を得ることに終始した。重要な決算計算書類等の財務関係資料の内容把握については、必要資料の事前送附による冷静な通覧結果により、管見ながらほぼ満たされるものであった。

また、監査準備作業に関して、計算書類等主要財務資料は上述のように事前送達による通覧、あるいは予め役員との密なやり取りによる把握措置が例年の如く施されており、延いては当日の監査執行効率に供するものである。そして、かかる監査結果で書類上の明白な脱漏や齟齬、不正相異事案が認められる場合は、直近理事会での事後報告と善後策の協議実施を必ず行うよう、毎年度の監事進言事項とさせていただいているところである。

実務上の大方の作業方途面アウトラインとしては、法人評議員や理事等役員の善管注意義務を“会是”として慮る立場を多として、具体的監査手法は法人定款第 1 8 条規定や法人所定の監事監査規程に則り、同時に役員諸氏の全幅の信頼を得つつ、誠実に実行すべきものである。かかる監事職として寛厳よろしきを得た基本姿勢のもとに、昨今喧伝中の施設の総合的な安全管理体制や感染症予防衛生対策等の保育環境面、あるいは財務経営面での適正経理の客観的水準評価を十全に得るため、能う限りの証憑傍証書類の現認検証を行ったところである。なお、上述のように一昨年度より施設開所中の実地検分が可能となり、日常の保育現場と併せて、特に防災関連の諸設備機器の稼働状況の把握に務めたことである。

およそ法人事務所での資料仕訳と分析作業は、これまでの通例として経理関連書類精査から開始される。その実施に際しては、監事監査規程第 2 条の監査諸項目と作業上の留意点を確認して、当該年度の歳計計算書類や附属明細書、その他の傍証的証憑との適合性と整合性の摺り合わせ検証から労務人事関係の記録帳簿台帳に至るまで、該年度予算執行状況をも含む多くの事蹟書類の適正評価に重点を置くものであった。

続いて、かかる計算書類群の再通覧確認後は、保育事業運営面に関わる給食等の児童処遇や防災関連、職員会議録等の施設関連業務に対する執行履歴簿を断片的ながら閲覧し、その前後では法令遵守責任者である施設長や立会人である理事長をはじめ、会計担当者も交えて該年度の歳計決算状況や保育業務の施設評価に関する意見交換を実施して、今回も一連の内部監査業務を終えたことである。

これよりは以上の監査作業報告の実際内容を踏まえ、以下に令和7年度の法人サービス拠点保育事業、並びに理事会役員執行状況、更に統合的な法人全般監査の結果として、浅見ながら若干の監事意見を開陳させていただくことである。

ついては、藤井啓史監事が経理関係の保全管理状況を、西山邦弘監事が施設事業運営と理事会・評議員会業務の執行状況を担当した。

1. 若草保育会の経理業務と労務管理について

当法人における本部・施設拠点区分の令和7年度会計決算について、例年同様手法により法人経理規程準拠対応による全般的な会計業務処理の顛末を慎重審査したものである。

処理手順としては、補助簿や附属明細を含む主要計算書類の確認と証憑伝票等の整理保管状態についての現認作業を中心として、同時に周辺の傍証資料に視野展開してゆく流れを基本とする。また、労務人事の管理分野では給与賃金体系の所謂、同一労働同一賃金という時事的妥当性や、殊に民生安定という福利厚生に関わる処遇改善の諸法令都度改定に即応した規程、即ち、国施策を反映するところの育児介護休業規則、全職員対象の給与規程等、諸帳簿の細やかな更新事蹟を確認したことである。以下はかかる検証過程の振り返りと結果報告である。

概ね、これまでの歳計決算の監査作業は、当初予算書等より窺える年度の全体的な配分バランスの把握を基本として、年度末補正を経て決算に至る流れを月次試算表と摺り合わせて財務諸表(計算書類)との突合せを実行してきた。該年度もおおよそ管見の許す限り、現用の経理システムの電算処理においては当方の驗算の結果も合わせ、大きな数値齟齬は見当たらない。また起票から入出金の出納処理、補助簿等の常備台帳の整備についても特段の指摘は必要としない。おそらく施設長と経理担当の両責任者による適正な機能連携が功を奏していると思量する。更に、経理分野として相関する人事諸帳簿等の整理保全についても不都合は見出せない。よって第二種社会福祉事業としての経営基盤の立脚地を十分に意識したものといえる。この度の令和7年度の決算処理の総評として、委託費の適正配分執行の遵守、そして資金収支差額の決算値においては剰余積立金の前年比減額が窺えるものの、ほぼ収支均衡の調和決算という結末導入を評価して憚らない。

最後に財務面(人件費)での若干の補遺意見となるが、歳出全体に占める人件費支出比率の漸増傾向(当該年度は、83.6%)がかなり以前から注視されている。同時に毎年度の委託費公定価格も、かかる人件費上昇部分に配慮した改定がなされているという。将来的な各種積立金とともに、事業・事務費の十全な確保との折り合いにも留意していただきたい。以上は、藤井啓史の担当報告である。

2. 施設運営、並びに法人役員等業務執行状況について

無量寺保育園拠点区分(第二種社会福祉事業)における令和7年度保育業務執行状況について西山邦弘が報告する。

当園の現在の施設利用定員は2・3号認定の計50名であり、平成27年春の園舎改築を契機として若干の増員変更認可を受けたものである。当該年度では期首(51名)と年度末(53名)で例年通り入所児童は微増の傾向であったが、およそ1割前後の漫然的な超過状態はしばらく続いているという。ただ、職員最低配置基準や認可面積では余裕ある担保となっているが、反面、職員雇用の上限充足性という面では、加算対象の資格職の確保も容易ではなく及第点には至っていないという。よって、現下では年度中途入所の受入は難しいといわれる。

当園の保育基本理念については、施設HPや常備配架書類の年次組織提要等に記載提示されている。要約すれば、ことばや環境など保育の基本5領域に沿って児童の年齢別指導と処遇方針が明記されたものである。加えて、現在の改築園舎玄関内には、大正12年創設以来の仏教保育信条が万古不易として掲げられる。

日常の保育現場は言わずもがなのこと、保育士のみではなく調理師や看護師等エキスパートの職能集団による連携運営で支えられている。殆どの資格職員には現今のキャリアアップ研修や地域保育士会共催の独自研修が課せられ、月次職員会議等では自己評価の披瀝を通じて新たな意思疎通が生じ、厳しさの中にも保育現場に共働の安心感とプロ意識の醸成が促されるという。実にかげのえのない尊い“いのち”を与える緊張感が現場に常に伝播することを切に願う、との施設長の弁であった。

一方、施設環境の各種対策として例年同様となるが、特に自然防災面では当該地区近隣が市作成のハザードマップ公図に大雨による浸水被害惹起該当指定地区とされており、当園でも重点的に幅広く避難対応策を含め目的別防災訓練を実施しているという。またもしもの非常時を想定して、備蓄食料の常備と棚卸を兼ねての検食や実食提供も定期的になされているとのこと。衛生管理面では新型肺炎予防措置の軽減収斂による緩和傾向が続く中、緩みなく継続対応を行い、昨年度は緊急時の児童用AED(自動体外除細動器)が園内に設置されている。

その他、該年度の「年次事業報告」では通常の保育活動に加えて、地域交流行事や親子参加の特別保育、保護者参観等の細やかな実施が明かされ、「園是」である【ちがいをみとめて なかよしこよし】が通底的に実践されている証しとなっている。更なる新機軸となる地域との共催企画が期待される。以上は保育施設業務の令和7年度執行状況の概況報告である。

続いて、法人評議員、理事・監事等法人役員、及び評議員選任・解任委員の定時若しくは臨時業務執行に関する諸会議について、令和7年度は都合9回の開催となっており、議事内容は下記の如くである。

-
- ①第176回理事会 令和7年 5月24日(土) 自14時～至15時半
議題 ・令和6年度収支決算
 ・令和6年度事業報告
 ・理事長の職務執行状況報告(令和6年度下半期)
 ・令和7年度第9回定時評議員会の招集日時と議事要項の承認
 ・監事による令和6年度の事業及び会計の監査報告

- ②第177回理事会 令和7年 6月10日(火) 自11時～至12時
議題 ・任期満了による評議員選任・解任委員の選任、委嘱について
・任期満了による評議員推薦候補者の選定について
・任期満了による理事・監事推薦候補者の選定について
- ③第3回評議員選任・解任委員会 令和7年6月10日(火) 自13時～至14時
議題 ・任期満了による評議員の選任、委嘱について
- ④第9回定時評議員会 令和7年 6月10日(火) 自14時半～至15時半
議題 ・令和6年度歳計決算確定承認
・令和6年度事業報告
・社会福祉充実計画算定シートの計算結果について
・任期満了による理事推薦候補者の選任、委嘱について
・任期満了による監事推薦候補者の選任、委嘱について
- ⑤第178回理事会 令和7年 6月10日(火) 自16時～至16時半
議題 ・理事長の選任について
- ⑥第179回理事会 令和7年 12月 2日(火) 自15時～至16時
議題 ・冬期賞与支給について
・最低賃金並びに通勤手当非課税限度額の改定対応について
・法人評議員の就退任に関する事前告知(推挙)について
・理事長の職務執行状況報告(令和7年度上半期)
- ⑦第180回理事会 令和8年 2月 5日(木) 自14時～至16時
議題 ・令和8年度当初予算
・令和8年度事業計画
・令和8年度補正予算
・年度末手当支給について
・令和6(監査対象)年度指導監査結果報告
・評議員2名の欠員対応(被選任候補者の推輓)について
・理事1名の欠員対応(被選任候補者の推輓)について
・評議員選任・解任委員会における監事の選任(交替措置)について
・諸規程等改定
- ⑧第4回臨時評議員選任・解任委員会 令和8年2月21日(土) 自13時～至14時
議題 ・中途退任申出者2名の解任認諾について
・補欠後任候補者2名の選任、委嘱について
- ⑨第10回臨時評議員会 令和8年 2月24日(火) 自15時～至16時
議題 ・前任理事逝去による補欠後任候補者の選任、委嘱について
-

議事録には議場における提案責任者の説明、参席各氏の意見開陳と即応協議の

内容、必要十分な意見交換を経て議決を得る審議過程がいつもながら明示摘録されている。この令和7年度もかかる議事録通覧の結果として、全役員諸氏による法人運営への熱意が尽くされたものと評価したい。また該年度は評議員会、理事会、評議員選任・解任委員会の役員組織全てにおいて、ごく自然体の世代交代ともいえる就退任の発議と議決がなされ、新たな選定者各位には今後のご活躍をお願いするばかりである。よって当該年度の社会福祉法人若草保育会の施設運営、並びに理事長の代表役員としての業務執行状況について、事務所備付書類の整理保管状態や施設責任者からの直接聴取の結果、概ね問題点指摘はなかったことである。

以上、定款第18条規定による令和7年度の社会福祉法人若草保育会の歳計決算と労務管理状況、並びに保育事業と理事会・評議員会等業務執行状況についての監事2名による監査作業は、結果として総体的に杜漏なく適正であったことをここに報告いたします。

令和8年 5月12日

社会福祉法人 若草保育会

監事 西山 邦弘 印

監事 藤井 啓史 印